

2007. 10
No. 239

千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報



資料散策 56

『仮名読八犬伝』
弘化5年～慶応2年



振り仮名を振って読みやすくした絵入りの「南総里見八犬伝」。著者は為永春水、鳳簫菴琴童、假名垣魯文と書き継がれ、絵も歌川国芳から落合芳幾に、版元も溪文堂から菊寿堂に引き継がれ、弘化5年(1848)から慶応2年(1866)にかけて30編が刊行されました。

新しい図書館システムが

平成19年2月に更新された電算システムを活用し、「千葉県歴史関係雑誌記事索引」、貴重資料を電子化した「電子図書館」をホームページで公開しましたので概要を御紹介します。

(千葉県資料室)

<千葉県歴史関係雑誌記事索引>

千葉県関係の事柄を調べるときに、皆さんはどうしていますか？図書については、キーワードの検索や分類の検索をすると、おおむね御希望の図書を見つけられると思いますが、雑誌については『新訂房総研究文献総覧』（新羅愛子編 千秋社 1979年刊）を調べたり、ある程度見当をつけて雑誌を探さないと関連する記事を入手することはできませんでした。

千葉県内で刊行されている雑誌は、地元の方が集めた地域の生の情報を多数収録しており、地域を知る上で大変貴重なものです。そこで中央図書館では、関連する雑誌記事を容易に見つけられるよう、比較的利用の多い歴史関係の雑誌について記事索引を作り、ホームページでの提供を始めました。

「千葉県歴史関係雑誌記事索引」で採録しているのは、原則として国立国会図書館（注）の雑誌記事索引の採録誌と重複しない雑誌です。些細な記事にも求める情報が含まれていることもあるので、できるかぎり多くの情報を引き出せるよう留意しました。記事のタイトル、著者名、雑誌名、収録頁、巻号、発行年月日のほか、記事の内容を知る手がかりとなる、各章の見出しや本文中に含まれている名詞や固有名詞もキーワードとして入力しているので、様々な角度から検索することができます。

(平成19年8月末現在、採録雑誌数83タイトル、データ数15,281件)

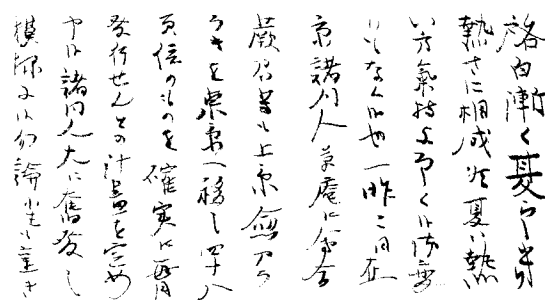
<電子図書館>

中央図書館では、主に江戸時代中期以降刊行の和古書や錦絵、絵図を多数所蔵しています。これらの資料のうち、県民の方の関心が高い資料について千葉県関係資料を中心に電子化し、ホームページで公開することを始めました。これにより、図書館に出向かなくとも、自宅に居ながら貴重な資料を閲覧することができるようになりました。

例えば、行政関係では明治期の千葉県の成り立ちが分かる『千葉県歴史原稿』、町村合併へ向けての『明治22年千葉県町村分合資料』を公開しています。また、江戸末期に刊行された『南総里見八犬伝』の関係資料では、『仮名読八犬伝』(本号の表紙でも紹介)と『八犬伝犬迺草子』を公開しています。これらは同時期に刊行され、当時人気の絵師が武者絵調(『仮名読八犬伝』)と役者絵調(『八犬伝犬迺草紙』)で競い合ったといわれており、両者を見比べることができます。明治以後の文学関係では、伊藤左千夫の書簡3通(寺田憲あて2通、藤直次郎あて1通)と、原民喜の詩「千葉海岸の詩」を直筆で見ることができます。

電子図書館では、これ以外にも歴史関係、和算関係ほか様々な資料を順次公開していきますので、御活用いただけると幸いです。

(平成19年8月現在、195タイトル)



伊藤左千夫直筆書簡(寺田憲あて 明治42年7月15日)

(注) 国立国会図書館のURLは、次のとおりです。

<http://www.ndl.go.jp>

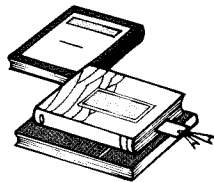
3階千葉県資料室・新聞雑誌室の紹介

3階千葉県資料室・新聞雑誌室が変わりました

10月25日より、県立中央図書館3階の千葉県資料室及び新聞雑誌室が模様替えをしました。閲覧スペースも広くなり、明るい雰囲気になった千葉県資料室・新聞雑誌室を御紹介します。

千葉県資料室

千葉県に関する資料を分野を問わず多数所蔵しており、これらの資料を活用し、県内外からの千葉県に関する調査相談をお受けしています。所蔵している資料は、和古書や絵地図などの歴史資料、行政資料、県内の団体の発行する資料、県民の著作など様々で、資料の発行年代も江戸時代中期から現代と幅広く、資料形態も図書(和装本・洋装本)、新聞、雑誌、マイクロフィルムなど多種多様です。これらの資料の大部分は一般に販売されているものではなく、著者や発行者である個人・団体・行政機関等からの寄贈によるものです。今後も蔵書の充実を図りたいと思いますので、御協力をお願いします。



新聞雑誌室

新聞、雑誌や官報などを備えています。新聞は、全国紙、県内の地方紙、外国紙や業界紙などがあり、主要な全国紙、全国紙の千葉版や県内の地方紙については、マイクロフィルムや縮刷版で明治・大正時代から所蔵しています。雑誌は、専門雑誌、紀要類や官公庁発行誌など、調べ物に利用できる雑誌を主に所蔵しています。受入れた雑誌は永年保存しているため、バックナンバーが充実しています。官報は、新しくできた法律などを知らせるために国が発行する広報紙ですが、「太政日誌」と呼ばれていた慶応4年2月から現在までを、マイクロフィルムなどで所蔵しています。

また、新聞や雑誌の記事を探す目録索引類やデータベースも備えていますので、新聞記事や雑誌論文を探す場合にはお気軽にお問い合わせください。

千葉県資料室・新聞雑誌室案内図



日本近代文学館成田分館

ルポルタージュ 千葉56



日本近代文学館成田分館が、9月15日に開館しました。場所はJR成田駅前から三里塚行路線バスで約15分、遠山中学校前で下車し、10分程度で成田分館に着きます。

建物は緑に囲まれた田園丘陵地帯の中に『蔵』をモチーフとして建てられており、直接、土に接しない高床式とし、屋根は置屋根で、外壁は外断熱とし、通気・防湿を図っています。

蔵書は、本館から約22万冊の資料が移されました。閲覧資格は満18歳以上、有料で、閲覧室内の展示の観覧は無料となっています。展示された作品の鑑賞のほか、『赤い鳥』などの復刻版を手にとることもできます。

現在の開館日は第1・第3土曜日ですので、利用される方は「事前に東京の本館に確認の上、利用してください」とのことでした。

千葉県公共図書館協会 50周年記念大会について

本年は、千葉県公共図書館協会が設立されて50周年に当たり、それを記念して5月31日(木)千葉県文化会館において、50周年記念大会が開催されました。

第1部では、放送大学附属図書館柏倉康夫館長による「知の拡大を支える図書館～世界図書館構想～」と題した基調講演が行われ、デジタルコンテンツをもとにした「世界図書館」の可能性について話されました。

第2部では「越境する図書館－館種を超えた図書館協力を求めて－」という題で、パネルディスカッションが行われ、コーディネーター三村敦美氏(日本図書館協会)のもと、竹内比呂也氏(千葉大学)、佐々木茂子氏(アジア経済研究所)、山中規子氏(県立印旛高等学校)、池田裕美氏(我孫子市民図書館)、河野明美(県立中央図書館)5名のパネリストにより館種を超えた協力について話し合われました。



日本近代文学館成田分館 利用案内

開館日 毎月第1・第3土曜日(12月は第1のみ)

時間 午前10時～午後4時

閲覧室の利用(座席数4) 閲覧料金 300円

- ・初めて閲覧される方は身分証明書、それに代わる物を持参
- ・閲覧希望資料は、前もって分館での所蔵を駒場本館で確認(文書や電話、FAXにて)
- ・閲覧は館内のみ、館外への貸出は不可

展示の観覧のみは無料

日本近代文学館成田分館

〒282-0121 千葉県成田市駒井野字新堀1705-3

TEL 0476-35-3668 (FAX 共)

本館 TEL 03-3468-4181 FAX 03-3468-4185

編集後記(日誌抄)

平成19年1月に図書館協議会から「これからの時代に求められる千葉県立図書館運営の在り方について」という答申を頂きました。

4月に中澤正道館長が着任し、答申を踏まえて、情報化や高齢化、地方分権の進展など、社会の急速な変化に対応できる図書館サービスの充実に取り組んでいます。

2月から稼動した県立図書館電算システムも順調で、「インターネット予約」「電子図書館」「メールレファレンス」など利用されています。

今後も県立図書館を御利用くださいますようお願いいたします。

- 開館時間：一般資料室 火曜日～金曜日 9:00～19:00
土曜日・日曜日・祝日・休日 9:00～17:00
千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室 9:00～17:00
- 休館日：月曜日(ただし、祝日・休日にあたる場合はその翌日)・第3金曜日(ただし、祝日・休日にあたる場合はその前日)・年末年始(12月28日～1月4日)・特別整理期間

千葉県立中央図書館 TEL043-222-0116

http://www.library.pref.chiba.lg.jp/
〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1